

東京女子高等師範學校助教授

石田はる先生著

和服裁縫系統的精說

上卷 送二十二錢
下卷 送二十二錢
價三圓八十錢
合輯 送三十三錢
價四圓五十錢

和服裁縫を科學的に検討し系統的に組織立てその教授法の原理を精確に把握せしむ!! 文檢要書

和服裁縫と言へば實際家は單に技術に訴へ又理論家は唯々斷片的の理論終始する爲眞に兩者の合致を得ず。畢竟之等が現在の小、女學校等の裁縫に教授の教育的効果を危ぶまれる所以となる。石田先生は女高師に裁縫の教官として在職現在十二ヶ年其間和服裁縫の全般に付て科學的に教育的に檢討して之れを系統的に組織立て其貴き苦心の結晶を始めて世に問うたのが本書である。故に其内容としては從來の傳習的因襲的の何物にも拘はれず凡ゆる流派を超えて其綜てを創造し理論と實際とを眞にビツタリと融合せしめ活用自能なる裁ち方縫ひ方の全般に亘つて精説してある。従つて原本書に據れば技術の要領練磨處理を最も合理的に會得し、又裁縫教授法の考據實際教育家の絶好指針として乞御必讀。

東京女子高等
師範學校教授
堀七藏著

版四

研究
自在
家事實驗室

紙數六百四十八錢十綴
全冊洋經

讀むと聽くだけ
の弊を脱した
事実験研究書

女子教育の必須科目家事科が從來現在共その眞價を是非せらるゝ所以は説く所が理論に傾き易く、斯學本來の目的に背馳するからである。實驗科學の權威應用は得年教壇の「衣食住」の三大綱要實習舉に甚大教項をして本書を以て活用せしものである。故に本書一冊は優に類書十冊に匹敵すべく而も組織體系に入りて最も又一生面を開けるものと確信す。教壇の諸士は勿論斯學研究者及文檢驗者の必讀を乞ふ。

番七二四八三京東替振 番五二三三込牛話電 店書館文中 區込牛市京東 四七二町天辯 所行發

幼兒教育講演會

一、期 日

来る五月廿七日（土曜日）午後一時半より

一、場 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、講師及び演題

幼兒性行評定尺度に就て

文學博士 淡路 圓治郎氏

多數御來會を歡迎致します

五月十五日

日本幼稚園協會

チノチノモト

五月五日發行

錢二稅錢十五部一價半
錢十八圓二金前年
錢十六圓五金前年

想的なる子供の繪雑誌

編輯顧問 幼稚園主事 東京女高師 倉橋惣三先生

- ◎「コドモノテンチ」は幼年教育の本旨に基いて、教訓・藝術・科學の渾一不離を期して編輯した雑誌です。
- ◎「コドモノテンチ」は子供の心になるごとに、作品としての誠實な態度を努力して持て、子供の眞實そのものに觸れて行くべく、作り上げた雑誌です。
- ◎「コドモノテンチ」はこの月の雑誌でも一冊一冊に獨自の主想を持ち、まことに之あるやう、研究に研究を重ねて生れ出でた雑誌です。
- ◎「コドモノテンチ」の執筆者は斯界に於ける一流の諸先生であり、製版者、印刷者はそれより有名な權威者です。成長させる理想的な繪雑誌です。

編輯顧問 東京高師 畫科主任 板倉贊治先生

目次

頁の物讀

- ▽△子供の習字の導き方
- ▽△石川博士の講義と記者の説明
- ▽△子供の言葉と記者の説明
- ▽△子供の育児の問題と記者の説明
- ▽△子供の成長と記者の説明

録附

「切り抜きお細工もの」

- ▽△ニヤンニヤン猫の子
- ▽△曲譜中山晋平先生
- ▽△振付土川五郎先生
- ▽△お人形(裏表紙)

- ▽△砂あそび
- ▽△森の小鳥(童話)
- ▽△おひげのちいちゃん(漫畫)
- ▽△おままで
- ▽△かぞへ方とメンタル

- ▽△前川千帆先生
- ▽△深澤省三先生
- ▽△森山肇先生
- ▽△板倉贊治先生
- ▽△熊谷空太郎先生

- ▽△武井武雄先生
- ▽△野口雨情先生
- ▽△太田庄太郎先生
- ▽△清水真雄先生
- ▽△ヨーヨー遊びと自動車

- ▽△伊藤滋先生
- ▽△太田三郎先生
- ▽△森山肇先生
- ▽△清水真雄先生
- ▽△板倉贊治先生

- ▽△清水良雄先生
- ▽△初上四郎先生
- ▽△西條八十先生
- ▽△西條八十先生
- ▽△柳につばめ

- ▽△清水良雄先生
- ▽△石井柏亭先生
- ▽△清水良雄先生
- ▽△西條八十先生
- ▽△柳につばめ

オフセット色刷の頁

行發所子供の天地社

市東電話小石川四五百三〇六四